



元気に満百歳の誕生日を迎えられた船越ヤスエさん

7/18

いつまでもお元気で
船越ヤスエさん満百歳を祝う

坂野町の船越ヤスエさんが7月18日、満百歳の誕生日を迎えられ、船越さんの自宅を稲田市長や県職員らが訪問。祝い状や記念品を贈り長寿を祝いました。船越さんは明治43年生まれ。「くよくよしないこと。」が長生きの秘訣だそうです。日頃は大好きな相撲をみたり、洗濯した衣類などを自分でたたんだり、天気の良い日には墓参りをされるとのこと、お元気そのものでした。



表彰されている児童

6/26

児童写生大会の優秀作品を展示

5月9日に開催された「第28回小松島春のまつり・金長まつり」の行事である児童写生大会の優秀作品表彰式が6月26日に市内のショッピングセンターで行われました。表彰式では会頭賞1名・副会頭賞3名と特賞10名の合計14名の子どもに賞状が贈られました。優秀作品50点は表彰式場に展示されていて、金長神社の風景やステーションパークたぬき広場のたぬき像、SL記念広場の蒸気機関車などが色鮮やかに描かれていました。

7/8

地域の大規模公共事業現場を
立江中学生が見学！

国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所が地域住民とのコミュニケーションを図り、公共事業の必要性・土木建設業に対する関心を持ってもらい、道路整備に対する理解を深めてもらうことを目的に7月8日、立江中学校1年生31名を招き、四国横断自動車道（阿南く小松島間）立江トンネル（仮称）の現場見学会を開催しました。

見学会に招かれた中学生たちは、四国横断自動車道の整備目的やトンネルの掘削工事などの説明を受けた後、工事現場内に入り、見たこともない特殊な重機や現場の想



トンネル工事現場を見学する生徒たち

像以上の大きさなどに驚いている様子でした。

善意の寄付

小松島市卓球協会（増田建二会長）が6月25日に市役所を訪れ、小松島市立体育館の卓球台の修繕費として21万5千円を寄付されました。増田会長は「市のために少しでも役立つことができれば」と話されていました。

また、小松島郵便局（竹本公三局長）と横須郵便局（須原文局長）が6月28日に市教育委員会を訪れ、サッカー・ワールドカップ南アフリカ大会の公式球のレプリカボールを寄贈されました。

レプリカボールは全国の各郵便局でサッカー・ワールドカップ応援企画として展示されていたもので、展示終了後に近隣の小学校・はなみずき学級および市教育委員会へ寄贈することになったそうです。



整備された祇園囃子保存会の太鼓など

宝くじの助成を受け祇園囃子
保存会の太鼓などを整備

財団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業の助成を受けて、立江町の祇園囃子保存会に大太鼓の皮の張替えや、三味線等楽器の購入が行われました。

この助成事業は、宝くじの普及広報事業の一環として行われています。今後もより多くの地域においてコミュニティ活動の充実を図ってまいります。



寄贈されたレプリカボール